

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		い〜まCrea大治 I		公表日		令和7年 3月 21日	
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		○	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。		○		・毎月シフト作成時と変更の希望があった際に、適切な人数が配置されているのか確認を行っている		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○		・外にはスロープがあり、室内は段差が少ない作りになっている ・指導訓練室は集中できる環境づくりを心掛け備品を置かないようにしている		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		○		・支援前に毎日かかさず清掃をしており、安心して安全に過ごせる環境を提供できている ・また現場中には定期的に換気を行っている		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		○		・集中して取り組むことや、クールダウンのためなど必要に応じて個別指導室を使用している		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		・目標設定を行い、半年ごとに面談を実施し、振り返る時間を設けている	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・毎年実施し、アンケート集計後に話し合う機会を設けている	・今後はスタッフ全体に周知し、参加率を上げられるようにしていく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		○		・定期的に面談を実施して、業務改善に努めている ・月に1度、ケースカンファレンスを実施し、意見交流している	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○		・第三者による外部評価は行っていない
適切な支援の提	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		○		・外部研修の受講を行った実績もあり、法人内でも月1回ほどサービス向上に向けた研修がある	・研修を行っている情報があれば外部などの研修も参加していきたい
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○		・会議を重ね検討をし作成している ・会社ホームページに公表し、事業所ページから閲覧できるようになっている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		○		・年2回保護者面談を行い、アセスメントやニーズの確認や聞き取りを行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		○		・子どもの支援に関わる職員全員で検討する機会を作っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		・作成後に、計画を再確認し具体的な支援の仕方について共有している ・鍵付き書庫で保管しているが、自由に計画書の閲覧ができるようにしている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		・いつでも振り返りができるよう日々記録をとっている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		○		・放課後等デイサービスガイドラインに沿って本人支援だけではなく、家族支援など子どもにとって必要な項目を設定した計画書を作成している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		○		・毎日のミーティングで日々の活動内容について話し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		○		・ねらいは同じでも内容に変化を持たせて子どもが飽きないように工夫している	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○	・子ども一人ひとりの課題に応じて個別指導と集団指導を組み合わせ指導している ・状況やニーズに応じた支援ができるよう検討し作成している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・日案を作成し、毎日のミーティングの際に確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・退勤時間の都合上、全員参加でその日のうちに実施することができていないが、翌日ミーティングの際に振り返りを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・日々の活動内容を記録に残し、何か変化が見られた際には特記事項に記載してモニタリング時期に振り返りを行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・モニタリングを半年に1度行い、計画の見直しを行っている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○	・複数の内容を組み合わせ活動している	・今後は一部のスタッフだけではなく、ガイドライン内容を読み合わせるなどしていきたい
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	・外出体験などで自己選択できるような機会を作っている	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・子どもの状況を理解している主担当が参加している ・会議前には複数のスタッフから情報を聞くなども行っている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・協力医療機関の体制は整っているが、連携して支援を行う案件が現在までに発生していない	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	・保護者を通じて下校時間の確認を行っているが、また必要に応じて学校と直接時間確認を行うこともある	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	・対象者がいないが、い〜まCrea大治Ⅱとの共有は行っている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	・移行前に担当者会議等で情報を共有している	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○	・自立支援協議会での研修内で連帯を図る機会がある	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・機会を設けていない
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	・毎回参加している	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・必要に応じて送迎時やメールや電話等で共有している	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・ペアレントトレーニングは実施できていないが、面談以外に、必要に応じて子どもとの関わり方について助言を行っている		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・利用契約時に紙面に沿って説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・面談時に意向確認を行うようにしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○	・同意を得る際には内容を確認していただくよう声をかけている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	・保護者に面談時以外でも、相談できる旨を伝えており、気軽に相談できるよう努めている	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・支援や参加はしていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	・契約時に説明し、苦情があった際は適宜適切にスピーディーに対応するよう心掛けている ・再発防止としてその後の対応についても共有している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	・イベント等があった際は発信している	・SNSの活用をはじめたが、十分に運用できていないため今後検討が必要だと考えている
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	・スタッフ向けには年1回同意書をとり話をしている ・個人情報につながる書類などは全て持ち出し禁止になっている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	・視覚教材の活用など一人ひとりに合ったツールを活用している	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域に開かれた行事等は行っていない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	・マニュアルを策定するだけでなく、定期的にスタッフ全体で研修や訓練を行っている	・ご家族に対しては実施できていない
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	・BCPを策定し、研修や訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	・契約時や面談時には必ず保護者に服薬やてんかん発作の有無など確認するようにしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	・アレルギーについては契約時に必ず確認を行っている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	・安全計画を作成し、研修や訓練に原則スタッフ全員参加できるよう調整して実施している	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全計画の内容の全てとなると、十分に周知されていないと感じるため今後検討していく必要があると考えている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	・事例があった際には事業所全体で共有している	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	・会社で組織化されている委員会の内容の周知の徹底や、事業所全体で研修を行っている ・また日頃の子どもの関わり方についても適切であるか確認を行っている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○	・一人で判断せず、全体で協議したうえで必要となった際には、保護者に面談などで説明を十分に行い、同意書にサインをいただいている		